

# 平成 18 年 8 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 17 年 12 月 21 日

上場会社名 株式会社 U S E N

上場取引所 大阪証券取引所(ヘラクレス)

(コード番号: 4 8 4 2)

(URL <http://www.usen.com/corporate/>)

問合せ先 代表者役職 氏名 代表取締役社長 宇野康秀

責任者役職 氏名 常務取締役管理本部長 佐藤英志 TEL : ( 03 ) 3509 7112

## 1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無  
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

## 2 平成 18 年 8 月期第 1 四半期の業績概況 (平成 17 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 11 月 30 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 8 月期第 1 四半期	40,724	22.9	33	98.4	708	-	2,538	-
17 年 8 月期第 1 四半期	33,131	55.2	2,042	810.5	1,136	186.1	813	-
(参考)17 年 8 月期	154,148		9,531		6,274		27,707	

	1 株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 8 月期第 1 四半期	33	74	-	-
17 年 8 月期第 1 四半期	12	88	-	-
(参考)17 年 8 月期	395	75	-	-

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

2. 前年同期、前期末および当四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、四半期純損失が計上されているため記載しておりません。

## [ 企業集団の営業の経過及び成果 ]

当第 1 四半期連結会計期間(自平成 17 年 9 月 1 日至平成 17 年 11 月 30 日)における当社グループは、当社グループを強力なコンテンツホルダーとして、また、新しいメディアとして、グループ内のリソースを最大限に有効活用する構想「メディア・コンテンツ・カンパニー(Media Contents Company)」を掲げました。その構想を具現化した事業として平成 17 年 4 月より完全無料パソコンテレビ「Gyao(ギャオ)」を開始しました。安定的な収益源である放送事業、カラオケ事業においては、市場シェアの維持、拡大を図り、ブロードバンド・通信事業においては、引き続き、集合住宅への早期入線と顧客獲得を促進させております。

その結果、当連結会計期間の業績は、売上高 40,724 百万円(前年同期比 22.9%増)、また、営業利益は 33 百万円(前年同期比 98.4%減)、経常損失は 708 百万円(前年同期経常利益 1,136 百万円)、第 1 四半期純損失は 2,538 百万円(前年同期純損失 813 百万円)となりました。

各事業別の業績は次のとおりです。

#### <放送事業>

放送事業の売上高は 15,730 百万円（前年同期比 0.5%減）となりました。有線放送市場は、飲食店等の業務店数が減少していることから、マーケットはやや縮小傾向にあります。依然として、市場における圧倒的なシェアは保持しております。個人市場においては、代理店等の販売協力を活用した通信衛星によるデジタル音楽放送サービス「SOUND PLANET」が好評を頂いております。また、昨年度よりモバイル放送株式会社が開始した移動体向け衛星マルチメディア放送サービス「モバHO！」へ音楽番組コンテンツの供給及び販売代理店としての新規顧客獲得を開始しており、未開拓であった移動体向けの市場へも事業を拡大しております。

#### <ブロードバンド・通信事業>

ブロードバンド・通信事業の売上高は 6,955 百万円（前年同期比 43.8%増）となりました。当社の光ファイバーブロードバンドサービスは、サービスエリアを首都圏及び全国の政令指定都市における人口密集地に絞り、集合住宅と中小法人を主なターゲットとしております。集合住宅においては、ADSLよりも安価な価格設定をとったサービスにより、新規ユーザーの獲得を増加させると同時に、1,300 万人を超えるADSLユーザーからのFTTHへの回線乗換えの促進に注力しております。法人顧客においては、自社営業のみならず各種の販売パートナーを通じて、顧客開拓を行っております。また、当連結会計期間におきまして、東日本電信電話株式会社（NTT東日本）や株式会社アッカ・ネットワークス等と提携し、今後はより積極的にサービス展開する予定です。

当会計期間末現在において、当社の提供する光ファイバーブロードバンドサービスのユーザー数は、契約者数 586,849 件（前期末 530,450 件）、取付数 407,159 件（前期末 362,828 件）となっており、ブロードバンド市場の普及拡大と当社グループの価格戦略が奏効し、急速に増加しております。

#### <カラオケ事業>

カラオケ事業の売上高は 10,279 百万円（前年同期比 8.1%減）となりました。カラオケ機器市場は、景気後退による飲食店等の業務店の減少等により事業環境は厳しい状況が続いておりましたが、既に市場に設置されているカラオケ機器の入れ替え需要期を迎えていることから、ビジネス拡大のチャンスであると認識しており、積極的なTVコマーシャルやイベント協賛、既存機種ブランド名の統一により、さらに「UGA」ブランドの認知度の向上に注力してまいりました。また、ハイエンド機種「uga plus（ウガプラス）」の投入や、中国市場への進出やカラオケルームの新規出店により、事業拡大を図ってまいります。

#### <映像・コンテンツ事業>

映像・コンテンツ事業の売上高は 6,667 百万円となりました。当社グループは、連結子会社である株式会社ギャガ・コミュニケーションズにおいて、権利元より買い付けした、または自主製作した作品の映画配給・DVDビデオ発売・TV版権の販売・インターネット配信権の販売や、光ファイバーブロードバンドサービスの加入者に向けた有料コンテンツ配信サイト「GATE01」、他事業者も含むブロードバンドユーザーへ向けた有料コンテンツ配信サイト「ShowTime」、インターネット音楽ダウンロードサイト「Ongene」等、様々なコンテンツサービスを手懸けております。

当連結会計期間においては、「私の頭の中の消しゴム」など大型作品の公開や「Shall we Dance? ~シャル・ウィ・ダンス?~」等のビデオ発売等が好調に推移しました。また、平成 17 年 4 月より開

始した完全無料パソコンテレビ「GyaO(ギャオ)」も、開始わずか8ヶ月で視聴登録数500万を超え、計画以上の立ち上がりを示しました。

「GyaO(ギャオ)」

全てのブロードバンドユーザー(FTTN、ADSL、CATV)を対象とした新サービス。「GyaO」は、視聴者にとっては、無料でコンテンツ視聴、見たいときに見る事が出来るV.O.D.(ビデオ・オン・デマンド) 広告主にとっては、地域、年齢、性別等の特定したセグメントに対する広告、コンテンツホルダーにとっては、全国の視聴者に対するコンテンツのプロモーション等、様々な提供価値を持っております。当社グループは、「GyaO」をテレビとインターネットの間に位置する新たなメディアとして確立し、事業を推進してまいります。

<店舗事業>

店舗事業の売上高は714百万円(前年同期比4.3%減)となりました。当連結会計期間末における店舗数は、『アフリカ』『コロニアルリビング』等レストラン系店舗が9店舗、フランチャイズ本部加盟店舗が9店舗となっております。店舗事業は、店舗の運営を通じて得られた最終消費者のニーズを活用し、業務店におけるサービスの向上を目的に事業を運営しております。

<その他事業>

その他事業の売上高は376百万円(前年同期比32.2%減)となりました。その他事業は、放送事業の業務店顧客に対し、店舗運営の支援となる商材やサービスの提供を行っております。具体的には、各種音響・映像機器の販売や設置等があります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年8月期第1四半期	257,006	28,455	11.1	378 20
17年8月期第1四半期	243,505	28,377	11.7	449 14
(参考)17年8月期	257,606	30,798	12.0	409 35

[ 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ599百万円減少の257,006百万円となりました。流動資産が、主として現金及び預金5,312百万円減少、前払費用1,657百万円増加等により前連結会計年度末比2,351百万円減少いたしました。また、固定資産は主として機械装置及び運搬具837百万円増加等により前連結会計年度末比1,763百万円増加いたしました。

負債に関しましては、主として短期借入金4,197百万円増加、未払金が1,747百万円減少、長期未払金が1,643百万円減少等により前連結会計年度末より1,870百万円増加し、217,903百万円となりました。

また、株主資本に関しましては、主として、第1四半期純損失が2,538百万円となったことにより前連結会計年度末より2,343百万円減少し、28,455百万円となりました。

3 平成18年8月期の連結業績予想(平成17年9月1日～平成18年8月31日)

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	82,000	3,500	1,000	500
通期	180,000	12,000	8,500	1,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 13円29銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年10月20日に発表いたしました通期業績予想に変更はありません。

通期業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4 四半期 事業部門別販売の状況

	18年8月期第1四半期 (当四半期)		対前年 同期増 減率 (%)	17年8月期第1四半期 (前年同四半期)		参 考 前 期(通期)	
	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
放送事業	15,730	38.6	0.5	15,810	47.7	62,493	40.5
ブロードバンド・通信事業 (1)	6,955	17.1	43.8	4,838	14.6	24,162	15.7
カラオケ事業	10,279	25.2	8.1	11,181	33.7	48,223	31.3
店舗事業	714	1.8	4.3	746	2.3	2,938	1.9
映像・コンテンツ事業 (1)	6,667	16.4	-	-	-	14,925	9.7
その他事業	376	0.9	32.2	554	1.7	1,405	0.9
合計	40,724	100.0	22.9	33,131	100.0	154,148	100.0

1 前第2四半期より㈱ギャガ・コミュニケーションズを新規連結したことに伴い、放送事業及びブロードバンド事業に含まれていた映像関連事業及びコンテンツ関連事業を新たに「映像・コンテンツ事業」として区分することといたしました。なお、前年同四半期において新区分を適用した場合の売上高は、ブロードバンド・通信事業が4,608百万円、映像・コンテンツ事業が230百万円となります。

5 役員の変動

日付	氏名	新役職	旧役職
平成17年12月1日付	上野 清	取締役、営業本部長兼首都圏営業部長	取締役、営業本部長

以上

添付資料

- ・ 四半期要約連結貸借対照表
- ・ 四半期要約連結損益計算書

## 四半期連結財務諸表

### 四半期要約連結貸借対照表

科 目	期 別	当第1四半期連結会計期間末 平成17年11月30日現在		前連結会計年度要約連結貸借対照表 平成17年8月31日現在	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					
流動資産					
1	現金及び預金	27,512		32,825	
2	受取手形及び売掛金	21,188		22,647	
3	たな卸資産	13,045		13,381	
4	前払費用	10,690		9,033	
5	繰延税金資産	3,370		3,363	
6	その他	14,088		10,994	
7	貸倒引当金	857		857	
	流動資産合計	89,038	34.6	91,389	35.5
固定資産					
1	有形固定資産				
	(1) 建物及び構築物	31,517		31,335	
	(2) 機械装置及び運搬具	6,563		5,726	
	(3) 工具、器具及び備品	1,962		1,927	
	(4) 賃貸用機器	6,051		6,716	
	(5) 土地	34,223		34,076	
	(6) 建設仮勘定	3,198		2,919	
	有形固定資産合計	83,516	32.5	82,701	32.1
2	無形固定資産				
	(1) 営業権	3,266		3,740	
	(2) 借地権	1,919		1,919	
	(3) ソフトウェア	2,833		2,260	
	(4) 連結調整勘定	22,318		22,081	
	(5) その他	441		438	
	無形固定資産合計	30,779	12.0	30,441	11.8
3	投資その他の資産				
	(1) 投資有価証券	26,088		25,945	
	(2) 出資金	42		43	
	(3) 長期貸付金	8,164		8,237	
	(4) 破産債権、更生債権等	4,262		4,252	
	(5) 保証金	6,975		6,794	
	(6) 繰延税金資産	5,291		5,643	
	(7) その他	11,852		11,026	
	(8) 貸倒引当金	9,018		8,895	
	投資その他の資産合計	53,658	20.9	53,048	20.6
	固定資産合計	167,955	65.4	166,191	64.5
繰延資産					
1	社債発行費	12		25	
	繰延資産合計	12	0.0	25	0.0
	資産合計	257,006	100.0	257,606	100.0

科 目	期 別	当第1四半期連結会計期間末 平成17年11月30日現在		前連結会計年度要約連結貸借対照表 平成17年8月31日現在	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)					
流動負債					
1 支払手形及び買掛金		10,061		11,657	
2 設備等支払手形		1,453		1,561	
3 短期借入金		14,765		10,568	
4 1年以内償還予定社債		1,500		1,200	
5 1年以内返済予定長期借入金		22,465		23,156	
6 未払金		13,361		15,109	
7 未払費用		3,103		3,348	
8 未払法人税等		247		808	
9 前受金		10,289		11,387	
10 賞与引当金		2,185		1,210	
11 債務保証損失引当金		6		6	
12 その他		13,991		10,616	
流動負債合計		93,432	36.4	90,630	35.2
固定負債					
1 社債		28,800		29,700	
2 長期借入金		79,974		78,294	
3 長期未払金		7,194		8,837	
4 繰延税金負債		86		76	
5 退職給付引当金		7,716		7,619	
6 その他		699		874	
固定負債合計		124,471	48.4	125,402	48.6
負債合計		217,903	84.8	216,033	83.8
(少数株主持分)					
少数株主持分		10,647	4.1	10,774	4.2
(資本の部)					
資本金		35,845	14.0	35,845	13.9
資本剰余金		22,574	8.8	27,510	10.7
利益剰余金		31,833	12.4	33,854	13.1
その他有価証券評価差額金		1,909	0.7	1,358	0.5
為替換算調整勘定		37	0.0	58	0.0
自己株式		2	0.0	2	0.0
資本合計		28,455	11.1	30,798	12.0
負債、少数株主持分 及び資本合計		257,006	100.0	257,606	100.0

四半期要約連結損益計算書

科 目	期 別	当第1四半期連結会計期間		前連結会計年度要約連結損益計算書	
		自平成17年9月1日 至平成17年11月30日		自平成16年9月1日 至平成17年8月31日	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高		40,724	100.0	154,148	100.0
売上原価		23,413	57.5	80,831	52.4
売上総利益		17,311	42.5	73,316	47.6
販売費及び一般管理費		17,277	42.4	63,784	41.4
営業利益		33	0.1	9,531	6.2
営業外収益		491	1.2	1,644	1.1
営業外費用		1,232	3.0	4,901	3.2
経常利益(損失)		708	1.7	6,274	4.1
特別利益		418	1.0	3,091	2.0
特別損失		1,697	4.2	35,709	23.2
税金等調整前四半期(当期) 純損失		1,987	4.9	26,343	17.1
法人税、住民税及び事業税	101			304	
法人税等調整額	2	99	0.2	448	0.5
少数株主利益		451	1.1	611	0.4
四半期(当期)純損失		2,538	6.2	27,707	18.0